

令和5年度 第1回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和5年5月30日（火曜日）午前10時から午前12時まで
開催場所 東京都心身障害者福祉センター12階研修室
出席者 妹尾委員長、橋爪副委員長、宮田副委員長、会田副委員長、徳武委員、小出委員、相良委員、岡田委員、樋口委員、渡辺委員、横山委員、清水委員、丹澤委員
事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 外川 他4名
公益財団法人総合健康推進財団職員 3名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none">資料確認（事前にメールにて送付済み） <p>次第</p> <p>資料1 令和5年度東京都サービス管理責任者等研修検討会委員名簿</p> <p>資料2 東京都サービス管理責任者等研修検討会設置要綱</p> <p>資料3 令和5年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案）</p> <p>資料4 令和5年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案）</p> <p>資料5 令和5年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 年間活動方針及び計画案について</p> <p>参考資料1 令和4年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告</p> <p>参考資料2 令和4年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告</p> <ul style="list-style-type: none">研修委託先である、公益財団法人総合健康推進財団の方も参加している。記録のために速記者の参加と録音をさせていただくこと、また、今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページでの公開対象であることについてご了承ください。ただし、資料については、出席委員の意見により公開・非公開を決めることができる。
-----	--

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

外川地域支援課長	<ul style="list-style-type: none">令和5年度の第1回東京都サービス管理責任者等研修検討会の開催にあたり、御理解と御協力を賜り、また、大変お忙しい中、委員として御就任いただき、感謝申し上げます。事務局一同、本検討会が有意義なものとなるよう、皆様と一緒にサービス質の向上に資する取組を精力的に進めていきたいと思っている。本検討会は、国が示した標準カリキュラムを効果的に円滑に進めるための具体的なプログラムをつくり、そこで使用する教材等の提案をしていくということを目的にしている。新たな標準カリキュラムの全体像が見えるようになり、改めて、それぞれの研
----------	--

	<p>修を一層実りあるものにするというところが大切になってきていると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施にあたっては、今年も、研修委託先である公益財団法人総合健康推進財団の皆様と意見交換しながら、必要な人材がしっかりと確保できるよう努めていきたい。
--	---

3 委員紹介

各委員	・自己紹介（記録省略）
-----	-------------

4 検討事項

(1) 委員長・副委員長選出

①委員長の互選

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・設置要綱の規定説明 ・委員長について委員より推薦いただきたい。
橋爪委員	・明星大学教授の妹尾先生を推薦する。
各委員	・承認する。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・御選出いただき、感謝申し上げます。 ・今年度は、昨年度実施した研修内容の更なるブラッシュアップを目指し、更新研修は令和6年度から実施するプログラムを検討準備いただく。

②副委員長指名

妹尾委員長	・更新研修は新たに会田委員に、基礎研修と実践研修のほうは昨年度に引き続き橋爪委員と宮田委員ということでお願いしたいが、皆様いかがか。
各委員	・承認する。

③今年度の検討会の進め方

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の検討会の活動成果を確認する。参考資料1の2頁目「活動成果」を御確認いただきたい。 ・今年度の取組については、参考資料1の5頁目「次年度の取り組み」をご確認いただきたい。それから昨年度に引き続き、検討チームで研修、教材等についてご検討頂きたい。
-------	---

(2) 年間研修実施計画について

妹尾委員長	・今年度の研修スケジュールについて、事務局から説明をお願いしたい。
-------	-----------------------------------

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の障害者総合支援法等関連研修の年間スケジュールを見ていただきたい。 表の一番上が障害支援区分関連研修、その次が相談支援従事者研修、一番下がサービス管理責任者等研修となっている。 【検討会】 ・年4回開催する。本日5月30日が1回目、2回目が8月、3回目が11月、4回目が3月を予定している。 【基礎研修】 ・年間2回実施する。定員は、年間で2,100名 ・第1回研修については、定員が1,200人で現在募集している。 ・講義が8月上旬、演習が8月から9月にかけて、A日程からL日程まで実施する。 ・第2回基礎研修は、定員を900人で設定している。 ・講義が11月上旬頃、11月から12月にかけて、A日程からI日程で演習を実施する。 【実践研修】 ・年間の定員を1,500名で設定している。 ・昨年度は2回実施したが、今年度は、1回で講義は1月上旬、演習は1月から2月AからOの日程で実施する。 【更新研修】 ・定員は1,400名で設定している。 ・講義が9月上旬頃、演習が9月から10月にかけて、A日程からN日程までの14日程の演習を午前と午後に分けて行う。 【専門コース別研修】 ・研修の実施は、10月と1月を予定している。 ・年間の定員は400名。第1回の定員が250名、第2回の定員は150名を予定している。 【国の指導者養成研修】 ・9月12日から15日の4日間の実施と国から連絡が来ている。 ・受講については、後日、皆様に御相談させていただきたい。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員から質問があれば、いただきたい。 ・特にないので、この年間スケジュールで承認する。

(3) 年間活動方針及び計画案について

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度検討会年間活動方針及び計画案について事務局から説明をお願いしたい。
-------	---

事務局	<p>【年間活動方針案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ目は、「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿Ver. 5」に基づいて研修内容を検討していただきたい。 ・二つ目は、基礎研修、実践研修、更新研修の三つの研修で使用する教材のブラッシュアップを図ること。3つの研修全体を見渡し、つながりを意識した研修プログラムを作成するということに取り組んでいきたい。 ・三つ目は、各研修のファシリテーター説明会の内容を検討していただき、短い時間の中でファシリテーターの皆様に分かりやすく説明して、研修を実施していただきたい。 ・四つ目は、令和6年度に実施する更新研修のプログラム案を作成すること。昨年度はスーパービジョンの部分のプログラム案を作成いただいた。今年度は次年度の実施に向けプログラム作成を進めていただきたい。 ・五つ目は、質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施するということ。 ・サビ管、児発管研修は、まだまだファシリテーターの数が不足している。たくさんの方に御協力いただけるような研修づくりをめざしていきたい。 <p>【検討チーム編成案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、基礎研修、実践研修、更新研修の三つの研修チームを主体として皆様と検討していきたいと思っている。そして、演習指導者養成研修もチームとして編成案の中に入れさせていただいた。 <p>[基礎研修チーム]吉田委員、相良委員、岡田委員、橋爪委員、横山委員 [実践研修チーム]清水委員、小出委員、樋口委員、渡辺委員、宮田委員 [更新研修チーム]徳武委員、会田委員、丹澤委員、皆川委員 [演習指導者養成研修]相良委員、岡田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会のチームは、各分野の方をバランスよく配置している。分野の垣根を超えて、ぜひ活発な意見交換をしていただきたい。 ・専門コース別研修は、昨年度実施したプログラムを実施する。 <p>【年間活動計画案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4の年間スケジュールに合わせた形で、研修教材の作成スケジュールを表に落とし込んだものになる。 ・基礎研修チームについては、今年度は講義の資料と演習教材、進行マニュアルの検証とブラッシュアップをする。成果物は講義資料と演習教材になり、既に第1回研修に向けて、皆様に検討していただいている。
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研修チームについては、講義そのものについては昨年度に撮影したものを、今年度は使っていきたいと思っている。活動内容としては、演習教材、そして進行マニュアルの検証とブラッシュアップをする。成果物は演習教材と考えている。 ・更新研修チームについては、講義の資料と演習教材、進行マニュアルの検証とブラッシュアップをする。成果物は講義資料と演習教材になる。 ・演習指導者養成研修チームについては、研修プログラムの作成と講義の資料、演習教材の検討をする。成果物は講義資料と演習教材と考えている。 ・専門コース別研修については、研修内容の検討と講義資料の作成をする。成果物は講義資料と考えている。 ・この研修教材の時期については、最終的に完成する時期を設定させていただいている。 ・皆様で検討していただいた後に事務局が取りまとめて総合健康推進財団に提出するといった流れになる。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員から質問があれば、いただきたい。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も研修方式はオンラインか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・講義部分はオンラインで、演習は集合形式を考えている。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・専門コース別研修は昨年度のものということだった。昨年度は動画を撮り、見ていただいた。内容はそのまま集合型になるのか、動画を見るのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・講義部分は動画となる。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・演習がないのであれば、講義なので動画だけで終了か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなる。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・専門コース別研修は講義部分に1コマ個人ワークがあった。個人ワークはオンライン上で行い、集合では行わないということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そうなる。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は対面と、ハイブリッドと、やり方が変わる。もう少し細かく確認しておきたいことはあるか。 ・特にないので、この内容で承認する。

(4) 各研修チーム活動について意見交換

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 各研修検討チームに分かれて、意見交換をしていただく。 事務局から提案があった今年度の年間計画と活動方針を踏まえ、研修検討チームごとに検討を進めていただきたい。 検討内容は、各研修検討チームの活動内容の確認と、演習教材作成のスケジュールを立てていただくということになる。 11時25分まで各研修検討チームで話していただき、その後、検討結果の報告に移らせていただく。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度末に基礎研修と実践研修でOJTについて考えるということがあったが、その結果はどうなったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実践研修チームから「つながり」を、特にOJTのところを基礎研修の段階で「どのように取り組んでいただくか」を発信するといいいのではないかと、という意見をいただき、基礎研修チームに「どうするか」ということを考えていただいた。 基礎研修チームでは「最後のまとめ」で「OJTについてとりこんでください」というメッセージを発するというので、今、教材作成に取り組んでいただいている。詳しくは、橋爪副委員長からお話し伺う。
橋爪副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 演習8でその部分に触れる。実践研修チームからの書面を頂いている。さらに事務局側で修正したものが、基礎研修チームだけに配られている。 受講生に配る予定のサンプルも後で見えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今、基礎研修チームにだけわたっているものを、この時間が終わるまでに皆さんにお渡しできるように準備する。

各研修検討チームの報告

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 1グループ4分程度、各副委員長の方から検討結果を報告いただく。 最初に基礎研修の橋爪副委員長から、OJTの件を3分、その後グループの検討結果を4分程度、その後、実践研修を宮田副委員長、更新研修を会田副委員長という順番で報告いただく。
-------	---

橋爪副委員長	<p>【OJTについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎研修は、演習8まであり、最後がまとめで、その部分でOJTに触れる。(全体で共有した基礎研修の資料1から3を見ながら)演習ノートの演習8に資料2が入る。演習8の1番が終わったら2番目にOJTについて話す。「具体的な学びのポイント」として「1から6」まで上がっている。ワークをする予定だったがワークはせず、「1から6」の簡単な説明をする。資料3は説明時のスライドになる。 <p>【基礎研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎研修は、3月頃から資料等作成し、演習ノート、スライドに関しても基本的なものは出している。 サービス等利用計画に基づき、それに連なって個別支援計画が作られていくという基本の形に戻している。サービス等利用計画があり、利用開始があり、その時点で個別支援計画をつくる。約半年後、相談でサービス等利用計画のモニタリングがあり、その後に個別支援計画のモニタリングが行われるという基本的な流れのケースに変えている。演習5で計画作成をし、利用者のサインをもらうロールプレイまでする。演習6で6か月の様子による個別支援会議のロールプレイをし、その個別支援会議を基に演習7で実際のモニタリングをし、個別支援会計面の修正を行う。そうした流れで資料ができているが、本日の申し合わせで修正が入るので修正した時点で報告したい。 動画の撮影が来月あり、6月2日の締切りに取り組んでいるところ。
宮田副委員長	<p>【実践研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践研修は開始後からコロナウイルス感染対策によりオンラインでしかやったことがない。集合型に向け、修正する箇所を確認した。 ロールプレイは、演習3、事例検討会議、個別支援会議を実際やっていただく。見本としてデモ動画を流すとか。グループ8名、ファシリテーターが2グループ1名ぐらいつく、8人だと配役があふれてしまうので4人ぐらいで2回回すなど話が出ている。 演習5は、成人期の事例で児童分野の方がイメージしにくいと言われる。生育歴で児童期を少し詳しく触れることで、児童期と成人期それぞれの支援者がお互いを知ることは大事だという話しがでている。成人期側、児童期双方でイメージができるので児童期のことを成育歴に詳しく入れようかという話が出ている。 今年度受講の方は、事前課題のOJT経験確認を「今まで経験しているか」とソフトに行う。 演習2で「受けた助言を振り返る」感じで基礎研修の資料をもとに事前課題を修正してOJTの確認を行うことを考えている。 演習6の自立支援協議会の検討のところは、「地域の課題を考える」と、地域側に

	<p>寄りすぎとの意見があり、人物を押さえた上で地域課題を考えられるといいので、「事例だとどうなるか」のワークへの変更を考えている。成育歴だけでなく地域についての情報も事例の中に詳しく盛り込む形で修正を検討している。対面になるのでワークを修正し、8月にはその修正案を持ち寄って検討できるという。</p>
会田副委員長	<p>【更新研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションの講義部分と演習1「関係機関との連携」演習2「事業所としての自己検証」演習3「サビ管としての自己検証」について昨年度継続の部分と今年度変えていく部分にポイントを絞って確認した。 ・オリエンテーションと関係機関との連携は動画配信になる。オリエンテーションで更新研修の目的の確認を丹澤さんに担っていただき、今年度集合型の研修に戻る要素をオリエンテーションの中に入れるかを昨年度のオリエンテーションの講義を確認して検討する。 ・演習1の関係機関との連携は、昨年度、実践報告の動画をお二方に講義で配信していただいたので、そこはそのまま継続。自立支援協議会の事前課題で修正した点は再撮影し、課題の狙いを講義の中で話すことを考えている。90分の講義の中で、昨年度のところはそのまま使い、今年度修正した点は丹澤さんが講義をするのは大丈夫か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・想定外なので検討したい。受講者の立場に立ち、途中で、講師が入れ替わることは大丈夫というのが更新チームでの結論か。
会田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうできるなら。昨年度のものを使うことで問題でなければ。受講生が聞きにくい、研修上よくないということであれば、丹澤さんに再撮影していただく。
橋爪副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のもの終わりが今年度の冒頭とつながるのであればいい。いきなり今年度のもが出てきたら受講生は困るだろう。再撮影の場合、昨年度の読み原稿をいただければ負担は減らせるのではないか。
会田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・演習2のグループワークは、昨年度のオンラインから今年度は集合型に戻すので、ディスカッション要素をより強くしたい。振り返りシートを今年度は各グループでテーマを決め、例えば1グループは個別支援計画とか、2グループは権利擁護とか。それをグループの中で話し合っ、どうしたら、よりいい取組になるか、アイデアを出し合う内容を考えている。ホワイトボードを使いたい。 ・演習3、サビ管としての自己検証。昨年度エピソードシートは個人ワークで行い、グループ発表で終了した。時間不足でエピソードシートを話し終わらないグループもあった。今年度はエピソードシートを事前課題にし、グループワークの時間を増やす。演習中にしてたエピソードシートの書き方説明は、動画を再撮影し動画配信の講義に移したい。 ・演習の中で、サビ管の役割として、OJTがあることを強調したい。昨年度、最

	<p>後、期待されるサビ管像を考えて発表した。その内容にOJTをすることをサビ管としての役割に入れることを考えている。</p>
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 各研修の報告ありがとうございました。 つながりを意識した研修プログラムの作成の取組については、令和3年度から方法とか研修の重なる要素のところの整理、また令和4年度では「東京都のサービス提供事業者においては障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダー像のVer.5」にまとまった。今年度もつながりを意識した研修プログラムの作成に引き続き取り組んでいきたい。 研修に織り込む内容について、ご意見を伺いたい。担当の研修、担当外の研修についてでも構わない。 昨年度は、研修プログラムについてつながりを意識するという目的でリーダー会をして、検討会で報告した。今年度、そういう機会を作ることにについて意見をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 事務局から補足。基礎研修を受講後にOJTを経て実践研修とカリキュラムが見直された。検討会では研修別に検討してきた。それぞれの研修がつながりをもって実施されることがとても大事であるということについて、それをどのようにつなげていったらいいかという検討の経過があった。 昨年度、各研修検討のリーダーである副委員長の方のリーダー会の中でご議論をいただき、その成果物がVer.5の学びのステップになった。 今年度も年間活動方針案の二つ目のポチにあるように、各研修で使用する教材のブラッシュアップを図るとともに、研修全体を見渡し、つながりを意識した研修プログラムを作成となっている。どんなふうに取り組むか、ご意見をいただきたい。
橋爪副委員長	<ul style="list-style-type: none"> リーダー会を踏まえて、OJTを前に出してやっている。 今回、僕らがOJTをするにあたり、実践研修から紙面を出していただいた、このやり取りはすごく画期的だ。それを含めた形で今も検討が進んでいる。これをなるべくオンタイムに伝え、始めたものがしっかり効率的になっているのかを実践研修の方にも見ていただく機会をつくり、そこから見えてくるものがあるといい。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> リーダーの姿、OJT、自立支援協議会、スーパーバイズが出てくると助言指導との兼ね合いが更新と実践に出てくる。どこまでをどの研修でやるかは、情報共有していきたい。 研修に参加しないと資料が手元に来ない、実践研修のファシリテーターや教室進行をしないと様子が分からないところがある。資料、特に関連していることについて共有できるといい。OJTはよかった。

会田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援協議会の事前課題を昨年度とは変えた。昨年度の副委員長が、副委員長の集まりに行った結果、つながりを意識され変えたと思うと、担当研修を超えた打合せが必要。サービス管理責任者としての自己検証にもOJTの要素を入れたほうがいい。基礎研修のOJTを意識して更新研修でどういうOJTをサービス管理責任者の役割として伝えるかみたいなものも、確認・共有できた方がいい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局としては横断的に研修を考える場を設けるのであれば予定を調整していきたい。 ・ 宮田副委員長の言われた、それぞれの研修で既に重なり合うところ、つながりあうところが皆さんの中で共有化されているのであれば、日時を設定し、それまでにそれぞれの研修検討チーム内でも検討されたことを持ち寄っていただいて、考える時間を設けるのは如何かと。8月以降具体的に考えられればと考えている。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正式にどういう形とするかは8月の検討会のときとする。 ・ 今回、準備を整える方向でという方向性を確認した。 ・ 議事録と資料はホームページ公開で同意いただいた。 ・ 本日の検討事項は全て済んだ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の検討会はこれで終了とさせていただきます。 ・ 第2回検討会は8月30日水曜日午前10時から12時に場所は本日と同様を予定している。詳細は改めてご案内する。 ・ この後、本日の議事録要旨案を作成し、メーリングリストで皆様に確認をお願いします。ご確認をいただいた後、本日の資料とともに東京都心身障害者福祉センターのホームページに公開させていただきます。 ・ つながりを意識したところについては、事務局で調整をさせていただき、リーダーの皆様にも調整のご案内を考えているので協力をお願いします。 ・ 以上で閉会とする。